

けやきと仲間 めーる



こころの病と闘っている人々と千葉大学生や周囲地域との協働の会 地域活動支援センター「けやきと仲間」
平成31年2月1日(第166号)

第21回精神保健福祉教室

こころの健康教室

「こころの健康教室」は、心の健康の問題に向き合う人たちがこれと上手く付き合いながら、地域で生き生きと暮らしていけるようになることを願って毎年開催されています。

今回は、山中浩嗣（ひろし）先生にご講演をいただきます。山中先生は長年にわたって臨床医として救急医療の第一線でご活躍されるとともに、ご勤務の傍ら千葉大学大学院において統合失調症について調査研究をされています。

皆さんは日頃の精神科受診のなかで、担当の先生に聞きたいことは聞けていますか？
山中先生は、満足のいく診察を受けるためのポイントについて、また、診療の中で精神科の診断について医師がどのように考え判断しているのかを、わかりやすくお話して下さるとのことです。先生のお話や質疑応答を通して、患者さんやご家族の皆さんのために役立つヒントがきっと得られると思います。

お忙しい中とは存じますが、ご経験豊富な山中先生のご講演に是非お越しください!!

■教室の内容

講演



講師 千葉県精神科医療センター
主任医長 山中浩嗣 先生

■日時 平成31年2月17日(日) 13:00~16:00

■会場 千葉市ハーモニープラザ1F 多目的ホール

(中央区千葉寺町 1208-2 TEL043-209-8779)

電車：京成電鉄千原線「千葉寺駅」下車徒歩6分

バス：JR千葉駅東口2番バス停「ハーモニープラザ」下車 ※花輪行は行きません

JR蘇我駅東口2番バス停(大学病院行)「ハーモニープラザ」下車

■定員 200名(先着順) 参加無料(事前の申し込みは不要です)

■お問合せ NPO法人けやきと仲間内 けやきと仲間の家 ☎043-377-0738

主催 千葉市(こころの健康センター)

実施主体 NPO法人千家連(千葉市精神障害者地域家族会連合会)

「新年に向けて・・・」Y.Sさんにインタビューしました。

自分がピアサポートを知ったのは、6~7年前、友人宅に遊びに行っていた時でした。1週間に1度の割合で、ピアサポートを利用していた友人のAさんが、ある時は笑顔で楽しそうに話し、ある時は「死にたい」等と訴えていました。そのうちに自分もピアサポートと一緒に美術館などに行ってもらったり、家にも来てもらうようになりました。自分は積極的に話しかけてくる人が苦手なので、そうではない人をお願いしました。

昨年秋ぐらいから、自分もサポーターとして家庭訪問に行くようになりました。自分はバスに乗るのが苦手なだけども、その時は我慢してバスに乗ります。

自分は、社会人らしい行動や話題の持っていく方など足りないと思うので、ピアサポーターになるのは早いと思っていました。それに、訪問先でHさんにベルトの丈を直してもらったり、バッグの紐を付けてもらったりして、自分の方がお世話になって、立場が逆だと感じました。でも、同行したスタッフが「ピアサポートは、お互いのリハビリに繋がっていると思いますよ」と言われて、以前、自分がピアサポーターに上から目線で話しかけられて嫌だったこと、ピアサポーターに自分が知っていることを話して感謝されたことを思い出しました。Hさんも帰り際に「来てくれてありがとう」と言ってくれて嬉しかったことも思い出しました。

昨年からはB型就労支援事業所で働き始めたり、少しピアサポーターをやったりしたことが関係あるのか、幻聴のことも「これは幻聴だ」と思えることが増えてきました。そして、五目並べが主流だったのに、今年に入ってから2回も囲碁を打つ事ができました。ビックリするぐらいのハンディをもらっても「勝ち負けは勝ち」。嬉しくて笑いが止まりませんでした。「五目並べよりも奥が深い」と偉そうに言って笑われました。

今年の希望、それは京都への一人旅です。

～絵画中心のボランティア 松山雅子さんより～

けやきと仲間の皆様へ。

NPO法人けやきと仲間の誕生から早いもので15年程経ちます。最初は、千葉大学内の研究室を借り、活動の1つ、絵画もそこで描いていました。現在の場所に定着するまで色々な変遷があったことが思い出されます。この間、多くの方々の力が集まり、良い会に成長していきました。今の発展が嬉しく感慨深いです。私は平成30年をもって、都合により退会させてもらうことになりました。ずーっと若い皆さんとご一緒に描け、とても楽しい時間でした。皆さま永きにわたりお付き合い下さりありがとうございます。どうぞこれからも、けやきと仲間の皆様、元気にご活躍される様願っています。

*15年以上も私達と関わっていただいた、松山雅子さんと語り合う場を2月12日(火)の午後に設定しました。

川柳

紅白のかまぼこが好きテレビより

年始め小松菜摘んで雑煮食う

家政婦の市原悦子惚れなおす

前夜から上野の森に胸はずむ

フェルメール青に魅せられミルク飲む

絵と違い塗りつぶせないカメラいや

ボクの絵を点から線に変えた人

褒められて隠さず描けた嬉しい日

戦争の悲しみあつてその強さ